

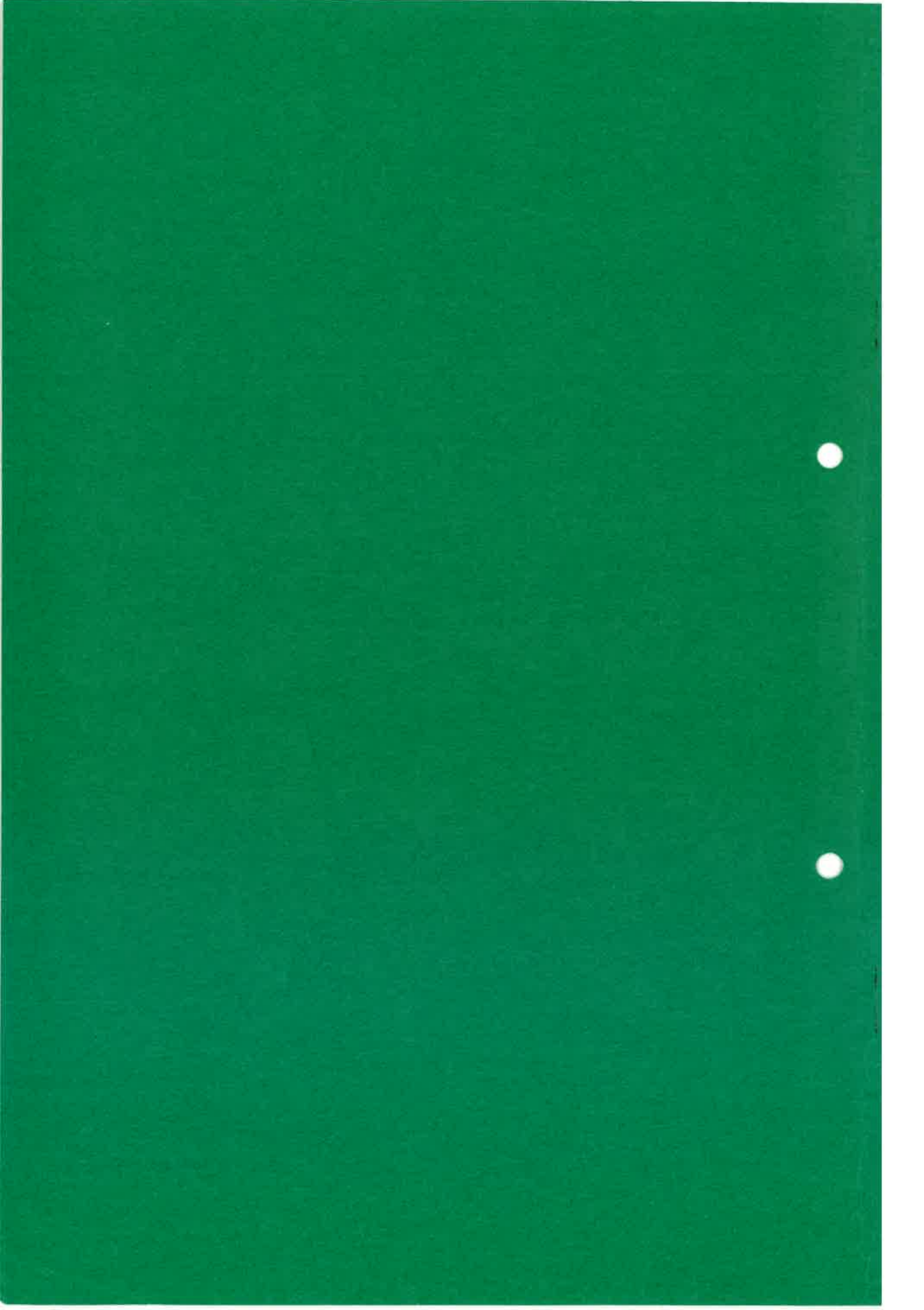


1973年～74年

年次報告

昭和48～昭和49年度

横浜緑ロータリークラブ



目 次

会 長 報 告	1
幹 事 報 告	2
クラブ奉仕担当理事報告	5
例会強化特別委員会報告	6
出席委員会報告	7
職業分類委員会報告	10
親睦活動委員会報告	10
雑誌委員会報告	12
会報委員会報告	12
会員選考委員会報告	13
会員増強委員会報告	13
プログラム委員会報告	14
ロータリー情報委員会報告	16
広報委員会報告	17
S . A . A . 報告	17
社会奉仕委員会報告	18
職業奉仕委員会報告	19
国際奉仕委員会報告	20
ロータリー財団委員会報告	21
会 計 報 告	22
会 員 名 簿	24
横浜緑ロータリークラブ組織表	28
五人制グループ(1973~74)	29
歴代会長幹事	29
備品目録	30
充填、未充填職業分類表	31

会 長 報 告

会 長 加 藤 雅 光

クラブ創立以来満3年を過ぎた当クラブの本年度頭初の姿は、有力会員を含む数多の脱会々員相次いだ後であったから、クラブの人心を一新することが緊急の課題であった。しかも、I.O.G.F.のホストを務める年度に当るので、誠に異常なほどの緊張感を抱いて会長の椅子に着いた。そのためクラブに新風を送りこんで、全会員一丸となってI.O.G.F.成功を旗印に、年初から努力するよう全各員に要請し、会員増強は二の次の問題とした。

クラブの活動方針は、「緑の町は緑区から」と「ロータリーはホームクラブから」を取り上げ、I.O.G.F.もこの方針を強く反映させるべく計画し、実行に移された。

こうして全会員のめざましい活動が始まり、クラブは活気に溢れ、9月のバザーから家族会を兼ねたガバナー公式訪問によって更に活動は加速され、年末の家族会では出席100%と云う、前代未聞の記録を打ち樹てたばかりでなく、I.O.G.F.の諸準備も着々と進み、ピークに達した会員の情熱を1月のI.O.G.F.にぶつけることができたのである。

会員の全力投球は結実し、積極的でユニークできめ細かい運営に対して各方面から絶大なる拍手が送られる中であって、社会奉仕、親睦活動の両委員会による、中里学園々児の一日里親旅行は、本年度の尾を飾るに応わしい大成功を収め、且つ亦、例会での「話の広場」は、全会員からたった3分間ではあるが、建設的な意見が聞かれて例会のふんいきを盛り上げ、「最後の3ヶ月間を出席100%でめくろう」運動では僅かに5月に1名の会員が止むなく2回欠席したのみと云う、高い出席率を以ってゴールインできたことは、出席競争の如何を論ずる前に、全員一致団結してベストを尽くすことによって得られた成果に対する満足感は、I.O.G.F.以上のものであったと確信する。

亦、5月には米山奨学生崔君のヘルシンキでの民族学会出席の費用を全会員の拠金によって賄われ、これを成功せしめたことは、国際理解の上からも特筆大書してはよからぬほどの成果があったものと自負している。

最後に本年度達成されなかった会員増強は、内部の充実が地域の住民の理解へとつながったものか、進んで入会を申し入れる候補者が年度末に至って数名現われたことから推測して、必ずや次年度結実するものと確信している。

会長の任期完了に臨み、鶴川副会長のI.O.G.F.、公式訪問での献身的な奉仕活動、名倉幹事のじみで誠実な努力はもとより、各委員会のいつにない活発な奉仕活動に対して、心から深甚なる謝意を表明して 筆する。

幹 事 報 告

幹 事 名 倉 健 二
副幹事 岡 本 健

「幹事はクラブの幹なり」と教えられ微力ながらも勢一杯忠実に務めて参りました。無我夢中で過したこの1ケ年をふり返ってみますと、楽しい思い出が多いのに今更乍ら驚いております。

その一つは地区大会芸能コンクールのアワ踊りで三味線を弾き、分区内有志と親しく、お附合いできたことであります。

亦 I.O.G.F. の総合司会役は小林分区代理や会長の適切なお指導や、強力なお支援のお蔭で、大過なく果すことができ、ロータリー活動に大きな自信を得たことであります。

そしてより多く奉仕することによって、「ロータリーとは何ぞや」の疑問が氷解した思いで一杯であります。それではこゝでクラブの概況を申し上げて、私の報告といたします。

名 称	横浜緑ロータリークラブ		
地 域	横浜市緑区一円	人口	221,062人 (男 115,861 女 105,201)
		60,950世帯	(49年7月1日現在)
事務所	横浜市緑区中山町 横浜銀行中山支店内		
例会場	同 上		
例会日	毎水曜日	12.30	～13.30
創 立	昭和45年 2月28日	(スポンサークラブ 横浜港北RC)	
	昭和45年 3月11日	RIの正式加盟承認	
	昭和45年12月13日	認証状伝達式	
	4クラブ合同 (於横浜市文化体育館)		

(1) 会 員

① 会員の種類

正 会 員	33名		
シニヤアクティブ会員	5名	計	38名
内チャーターメンバー	15名		
新入会員	3名	6月末会員	38名

② 年 令

70才台	3名	40才台	16名
60才台	6名	30才台	2名
50才台	11名		

最高年令 78才

最低年令 37才

平均年令 53才

(2) 例会の来客数

例会数 50回

来客数 (ゲスト及ビジターの合計数 192名)

月	例会数	来客数	月	例会数	来客数
7	4	23	1	4	14
8	5	28	2	4	12
9	4	13	3	4	8
10	4	27	4	4	17
11	4	20	5	5	14
12	4	6	6	4	10
			192		

来訪クラブ数 28クラブ

一例会平均 約4名

(3) クラブ外行事

9. 5 (水) 神奈川県第1分区会長、幹事会

10. 21 (日) 寒川R.C. チャーターナイト

11. 9, 10, 11 (金・土・日) 第359地区年次大会 (ホスト 甲府北R.C.)

11. 18 (日) 横浜保土ヶ谷R.C. 10周年記念祝典

11. 22 (木) 神奈川県第1分区 I.C.G.F 準備懇談会

1. 26 (土) 神奈川県第1分区 I.C.G.F (ホスト 横浜緑R.C.)

2. 2 (土) 神奈川県第2分区 I.C.G.F (ホスト 横浜旭R.C.)

2. 22 (金) 横浜東R.C. 20周年記念祝典

2. 25 (月) R財団教育補助金奨学生、財団特別補助金派遣看護婦帰国報告会

3. 24 (日) 鶴見北R.C. チャーターナイト

4. 6 (土) 第359地区次期会長、幹事会

4. 13 (土) 横須賀南R.C. 10周年記念式典

6. 15 (土) 横浜西R.C. 15周年記念式典

6. 16 (日) 藤沢R.C. 20周年記念式典

6. 23 (日) 第359地区協議会 (ホスト 磯子R.C.)

(4) クラブ内行事

- 7. 4 (水) 定例理事会
- 7.1 1 (水) クラブフォーラム(職業奉仕) クラブ協議会
- 7.1 8 (水) クラブフォーラム(会長)
- 7.2 5 (水) 職業分類、会員増強、会員選考、合同委員会
- 8. 1 (水) 定例理事会
- 8.1 5 (水) クラブフォーラム(社会奉仕)
職業分類、会員増強、会員選考、合同委員会
- 8.2 9 (水) 例会強化特別委員会
- 9. 5 (水) 定例理事会
- 9.1 9 (水) クラブフォーラム(国際奉仕) 臨時理事会 5人制グループミーティング
- 9.2 6 (水) クラブフォーラム(会長)
- 9.2 8 (金) チャリティバザー(社会奉仕) 懇親会(親睦活動)
- 10. 5 (金) 炉辺会合(ガバナーを囲んで)
- 10. 6 (土) 今井ガバナー公式訪問
クラブ協議会 定例理事会 家族ぐるみ懇親会(親睦活動)
- 10.1 7 (水) I.C.G.F 準備委員会
- 10.3 1 (水) 臨時理事会
- 11. 7 (水) 定例理事会
- 11.1 4 (水) 地域小学校植樹祭(社会奉仕) ボーリング大会(親睦活動)
- 11.2 1 (水) I.C.G.F 準備委員会
- 11.2 8 (水) I.C.G.F 準備委員会
- 12. 5 (水) 定例理事会
- 12.1 9 (水) I.C.G.F 準備委員会(大沢リーダーを囲んで)
家族懇親クリスマスパーティ(親睦活動)
- 12.2 6 (水) クラブ協議会 I.C.G.F 準備委員会
- 1. 9 (水) I.C.G.F 準備委員会
- 1.2 3 (水) クラブ協議会
- 1.2 6 (土) I.C.G.F 慰労家族ぐるみ懇親会(親睦活動)
- 1.3 0 (水) 臨時理事会
- 2. 6 (水) 定例理事会
- 2.1 3 (水) 臨時理事会 次期理事候補者指名委員会 職場見学会(職業奉仕)
- 2.2 7 (水) クラブフォーラム(社会奉仕)
- 3. 6 (水) クラブ年次総会 定例理事会
- 3.2 0 (水) クラブフォーラム(クラブ奉仕)

- 4. 2 (火) 炉辺会合
- 4. 3 (水) 定例理事会 臨時理事会 (次期理事役員)
- 4.17 (水) 次期理事、役員、委員長、懇談会
- 4.21 (日) 中里学園1日里親会 (社会奉仕、親睦活動共催)
- 4.24 (水) 臨時理事会
- 5. 1 (水) 定例理事会
- 5. 8 (水) クラブフォーラム (国際奉仕)
- 5.15 (水) 臨時理事会 (次期理事役員)
- 5.22 (水) 臨時理事会 (次期理事役員)
- 5.29 (水) 職業分類委員会 (現、次期合同)
- 6. 5 (水) 定例理事会 (現、次期合同)
- 6.12 (水) 臨時理事会
- 6.19 (水) 臨時理事会
- 6.26 (水) 年度末懇親会 (親睦活動)

(5) 新 会 員

浜 田 勝 弥 君	7 月 2 5 日入会	貨物自動車輸送
菅 野 明 男 君	1 0 月 2 4 日入会	信 用 金 庫
大 出 浩 市 君	5 月 1 5 日入会	信 用 金 庫

(6) 退 会 者

小 峰 政 博 君	1 0 月 2 0 日	相模原南R.Cへ (転勤)
菅 野 明 男 君	3 月 3 0 日	転勤

ク ラ ブ 奉 仕 担 当 理 事 報 告

鵜 川 昇

創立4年目を迎え、いささかマンネリ化の弊もみられる処から、初心に帰って内容の充実をはかり、第一に例会の充実強化をはかった。その為、例会強化特別委員会と5人制グループの提案を積極的に受け入れ、会員相互の理解と友情を深めるとともに、各委員会相互の連繫を密にした。

例会強化特別委員会報告

委員長	名倉健二	委員	岩崎董生
副委員長	石川治道	〃	中山恒三郎
委員員	秋田茂	〃	武藤松一
〃	鈴木憲一	〃	中野実

クラブ例会は善意昂揚の道場であって、会長の方針である「ロータリーはホームクラブから」は正にこの根本理念を踏まえて、明朗で活気ある例会を創ることを明快に打ち出しております。

当委員会は隔月毎に適宜委員会を開いて、次のようなアイデアを提供し実施して参りました。

- (1) 「例会」に関する資料を提供（ロータリーの友より抜萃）
- (2) 「緑の町は緑区から」の会長方針実践のため、草花の苗木や種子を、お祝の品とし、又ビジターに贈呈。
- (3) 例会でのFree Talking の時間をとるため、各委員長報告は食事時間中とする。
- (4) 毎月のプログラムの予告（会員宛）、卓話の通知（近隣クラブ宛）の実施
- (5) ビジターの紹介は、職業分類の紹介も併せ行う。
- (6) 石川委員、鈴木委員の意見を週報に掲載。（私の提言欄）
- (7) 例会開始5分前着席励行の為、予鈴を鳴らす。（SAA担当）
- (8) 資源不足の認識を高めるため、「たべ残しをなくそう運動」、「月1回の粗食デー」の実施
- (9) 例会前后に利用できる談話席の開設。
- (10) 各同好会での成績発表、賞品授与を例会時行う。
- (11) Free Talking を会員輪番制で実施。（3分間の話の広場）

出席委員会報告

委員長 岩 本 正 三
副委員長 篠 田 貞 光
委 員 長 瀬 正 作

出席100%に明け暮れるロータリーには若干疑議を感じることもあるが、自分が例会を欠席し他の会員に迷惑を掛けることを考えれば、やはり各自の出席に対しての自覚と云う問題提起をなげかけるのが常識ではないだろうか？

前任者より受けつぎ出席委員会をおあずかりした昨今であるが、近年とくに出席率が良くなって来たのは下記の理由によるのではないかと思います。

- ① 例会場に出席表を掲示し毎回出席委員会に於て会員の目の前で出席（メイクアップを含む）をチェックすること。
- ② 会員全体が少数精鋭主義にめざめたこと。
- ③ 欠席会員には電話連絡でメイクアップをすすめ、たまたまその会員が次の例会日に出席した場合には、ユーモアを含めての言動で今後の自覚を促す。

	1	2	3	4	5
1973	例会日付	会 員 総 数 (名誉会員) を 除 く	出席計算に用 いた会員数	出席又はメー ク・アップし た会員数	百 分 率
7 月	4 日	3 7	3 7	3 6	9 7.3 0
	1 1 日	3 7	3 6	3 6	1 0 0.
	1 8 日	3 7	3 6	3 4	9 4.4 4
	2 5 日	3 8	3 7	3 5	9 4.5 9
				合 計	3 8 6.3 3
				平均百分率	9 6.5 8
8 月	1 日	3 8	3 7	3 4	9 1.8 9
	8 日	3 8	3 7	3 5	9 4.5 9
	1 5 日	3 8	3 7	3 7	1 0 0
	2 2 日	3 8	3 7	3 6	9 7.3 0
	2 9 日	3 8	3 7	3 6	9 7.3 0
				合 計	4 8 1.0 8
				平均百分率	9 6.2 2
9 月	5 日	3 8	3 7	3 7	1 0 0.
	1 2 日	3 8	3 7	3 7	1 0 0.
	1 9 日	3 8	3 7	3 6	9 7.3 0
	2 6 日	3 8	3 7	3 6	9 7.3 0
				合 計	3 9 4.6 0
				平均百分率	9 8.6 5

	1	2	3	4	5
10 月	6日	38	37	36	97.30
	17日	38	37	36	97.30
	24日	38	37	35	94.59
	31日	38	37	35	94.59
				合 計	383.78
				平均百分率	95.95
11 月	7日	38	37	37	100
	14日	38	37	36	97.30
	21日	38	37	36	97.30
	28日	38	37	36	97.30
				合 計	391.90
				平均百分率	97.98
12 月	5日	38	37	36	97.30
	12日	38	37	35	94.59
	19日	38	37	37	100
	26日	38	37	36	97.30
				合 計	389.19
				平均百分率	97.30
1 月	9日	38	37	37	100
	16日	38	37	37	100
	23日	38	37	37	100
	30日	38	37	36	97.30
				合 計	397.30
				平均百分率	99.33
2 月	6日	38	36	35	97.22
	13日	38	36	33	91.67
	20日	38	36	36	100
	27日	38	36	36	100
				合 計	388.89
				平均百分率	97.22
3 月	6日	38	36	36	100
	13日	38	36	36	100
	20日	38	36	34	94.44
	27日	38	36	34	94.44
				合 計	388.88
				平均百分率	97.22
4 月	3日	37	35	35	100
	10日	37	35	35	100
	17日	37	35	35	100
	24日	37	35	35	100
				合 計	400
				平均百分率	100
5 月	1日	37	35	35	100
	8日	37	35	35	100
	15日	38	36	35	97.22
	22日	38	36	35	97.22
	29日	38	36	36	100
				合 計	494.44
				平均百分率	98.89

	1	2	3	4	5
6 月	5 日	3 8	3 6	3 5	9 7.2 2
	1 2 日	3 8	3 5	3 4	9 7.1 4
	1 9 日	3 8	3 5	3 5	1 0 0
	2 6 日	3 8	3 5	3 5	1 0 0
				合 計	3 9 4.3 6
				平均百分率	9 8.5 9

本年度個人100%出席者並連続100%の会員は下記の通りです。

- 本年度100%
 ◎ 連続 100%
 △ 本年度100%で入会后1年未満
 100%年数は連続のもの

	前年度マデ	本年	計		前年度マデ	本年	計
○ 阿久根		○	1	○ 篠 田		○	
○ 麻 生		○	1	◎ 高 橋	3	○	4
◎ 石 川	3	○	4	◎ 戸田 裕	1	○	2
○ 岩 本		○	1	◎ 戸田 修	3 (4)	○	4 (5)
◎ 岩 沢	3	○	4	◎ 富 永	3	○	4
◎ 加藤 雅	3 (10)	○	4	◎ 鶴 川	4	○	5
○ 加藤 芳		○	1	◎ 山 下	1	○	2
◎ 小林林	4 (11)	○	5 (12)	◎ 好 井	3	○	4
○ 三 橋		○	1	○ 代々木		○	1
◎ 森	2	○	3	△ 浜 田		○	1
◎ 武 藤	3	○	4	△ 大 出		○	1
○ 中 林		○	1				
◎ 中 山	2	○	3				
○ 名 倉		○	1				
◎ 野 路	2	○	3				
◎ 岡 本	3	○	4				

職業分類委員会報告

委員長	高橋正文
委員	戸田裕也
委員	清水勇

- (1) 本年度も地区ガバナーの方針に従い、会員の増強を意図して、理事会と連携をとり、当地区に於ける職業分類の再検討を行った。その結果、76業種よりなる新たな職業分類表を作成し、有望な会員候補者に対し、充分に未充填の職業分類を開放するように努めた。
- (2) 会員増強委員会、5人制グループと協力するだけでなく、各業界から優秀な会員候補者を選び出すように、全会員に努力して頂くため、会員名簿に折込むことの出来る「未充填職業分類表」を作成して全会員に配布し、未充填職業分類の充填に努めた。
- (3) 残念乍ら実績は余り香しくなく、3名の新会員を得たに止まったが、一方退会者も少く、2名に過ぎなかった。結果として会員の結束は固くなり、質的の増強には成功したものとする。
- (4) 本年は石油ショック等にも影響され、社会的情勢は流動が激しく、未充填職業分類表がうまく活用できなかった。次年度は、理事会、役員会や関係委員会に止まらず、全会員に協力を求めて、会員増強のやり易い職業分類表を作成することが必要と思われる。

親睦活動委員会報告

委員長	山本照麿	委員	中林靖
副委員長	西野淳造	〃	好井良雄
委員	阿久根幹成	〃	代々木和男
〃	浜田勝彌	〃	大出浩市
〃	加藤芳昭		

ロータリーの発展は会員及び家族の相互理解と親睦の中から生れるとの認識に立ち、当委員会の活

動に誇りと、責任感をもって推進に当りました。年間活動の内、特記すべきこととは、I.G.F.を頂点に盛り上げを図り、その成功をみたこと、家族参加の懇親の機会を数多くもったこと及び社会奉仕委員会との共同行事を二度行ったことなどであります。以下主要な活動について列記します。

記

1. 委員会の強化

副委員長制採用、若返り、委員数の増加（7名から9名へ）、委員会結束のための「食べよう会」。

2. 会員アンケートの実施

期初全会員から「親睦委員会に望む」というアンケートをとり、これに基き、総意を反映した活動方針を決定。

3. 家族懇親会の増加

10/6 I.G.F 接待打合せを兼ねた懇親会。（於桐蔭学園、会員及び夫人）

12/19 クリスマス・パーティ（会員及家族）。

1/26 I.G.F 懇親会（会員及び夫人）。

4/21 一日里親。（社奉委員会と合同、会員及び家族）

4. 社会奉仕委員会とのタイ・アップ。

親睦活動にロータリー精神の裏打ちをもたせる意味で実施。

9/28 チャリティ・バザーと懇親会。

4/21 一日里親。

5. I.G.F 懇親会による他クラブとの交流。

ホスト・クラブとして、会員の提供する会場と手作りの食事で接待し、会員夫人がホステスをつとめ、桐蔭学園学生の演技を披露し、お土産もクラブ・ターゲットに則した椿の苗木を贈呈するなど、クラブを挙げてのユニーク且つ全力投球をした接待は地区役員他クラブ会員の好評をえた。

6. 同好会の拡充。

ゴルフに加えて小唄、囲碁同好会を新設したが運営は今一步であった。（世話役強化とメンバーの自覚が必要）。

7. 例会におけるビジターとの交流強化。

各テーブルに委員1名以上着席、食事前の紹介。委員持廻りによるビジター紹介。

8. その他。

全社対抗ボーリング大会（2回）。

6/26 新旧交代1泊旅行。

以 上

雑誌委員会報告

委員長 麻 生 和 衛

副委員長 中 山 恒 三 郎

雑誌委員会が当初計画した、緑と公害に関する資料提供や、公害、資源に関する卓話の拝聴は、極めて難事で、十分な成果を上げ得ませんでした。

しかし、ザ・ロータリアン誌やロータリーの友の記事の中から、ロータリー活動に応わしいものや、特に当クラブの向上に資するに価いするものを選んで、例会時数多く発表して講読意欲を増加せしめたものと思います。

会報委員会報告

委員長 戸 田 裕 也 委員 中 林 靖

副委員長 加 藤 芳 昭 “ 中 野 実

- ・ 今期は週報を必ず例会日に間に合せる為の編集の努力をした。
- ・ 三人の会員による2ヶ月交互の分担執筆で時間的負担の軽減を計ると共に会報の内容にそれぞれの味を出し新鮮さを失なわないようにした。
- ・ チャーター・メンバーを新入会員に紹介する為“只今4才”の欄をもうけ、満4才の緑ロータリークラブをよりよくする為の随想録を執筆していた。これにより旧メンバーの昔話から新入会員が何かを学びとり相互の意志疎通、友好度の緊密化をはかった。(6回に分載)
- ・ 会報の第一ページに会長の欄をもうけ、会長の報告、クラブへの希望の方針を伝達する役に資した。
- ・ “私の趣味”で各会員の趣味を通した人生観、処世術を御ヒロウ願う特集を企画し、二会員の御協力を得た。
- ・ ロータリーの国際性を実感として味わうためアメリカのロータリーという特集を5回に亘り連載し、アメリカのロータリアンのロータリーへの姿勢、考え方を文通により返信してもらい通読してもらった。
- ・ 当クラブとしては始めて一ヶ月の出欠表に Make up した他クラブの名前を各会員の項に記載した。
- ・ 会員の出席増強の為にホームクラブ欠席者の氏名を会報にのせたが効果は余りなかったようだ。か

えってマーク・アップをしなかった氏名を載せた方が有効だったかも知れない。

会員選考委員会報告

委員長	石川治道
副委員長	秋田茂
委員	小林安雄

本年度に選考した会員候補者は5名にて、内2名が入会した。委員会としては格別に厳格な選考規定は設けて居りませんが、地域社会で人望があり人間味をもって他とよく協調出来る人、又例会には必ず出席する強い意志のある人を求めて来ました。創立頭初に示したような会員増強は実現出来なかったが、その代りに若くて有望な新会員が入会された事を喜こんで居ります。

会員増強委員会報告

委員長	鵜川昇	委員	石川治道
副委員長	鈴木憲一	〃	高橋正文
委員	岩崎董生		

前年度多くの退会者が出た原因を深刻に考え過ぎた傾きなしとしませんが、数の増強の点では十分の成果を挙げることが出来なかったことを反省しています。質の面では相当の効果があつたのではないかと思います。

尚、特筆すべきことは、年度末に至り、進んで入会を希望する者が数名現われたことで、当クラブのじ道な活動が漸く、地域社会に浸透し、理解されて来たからではないかと思致します。

プログラム委員会報告

委員長 富 永 力 委員 秋 田 茂
副委員長 石 川 治 道 " 清 水 勇

1. 四大奉仕部門の各委員長並に委員からの協力を求めて

- ① 部門別にバランスの取れた奉仕と実践に役立つ卓話
- ② ロータリーの理解を深める卓話
- ③ 知識、情報を広く求めて視野の拡大を計る卓話

を内容としてお話しの出来る人物の斡旋を得て 初期の目的を満足する卓話を提供する事が出来ました(以下参照)。

2. 次月のプログラムを予告して、ホームクラブへの出席を促しました。

7 3 ~ 7 4 プ ロ グ ラ ム

1973年

7 / 4	定例理事会 正・副会長幹事就任挨拶
11	フォーラム(職業奉仕) 司会野路委員長 クラブアッセンブリー(2時迄)
18	フォーラム(会長・小林分区代理) I.G.Fについて
25	卓話 東急プレハブKK 稲葉睦男「プレハブ工法」
4	ゲストスピーチ 「青空駐車厳罰の件」松本緑警察署長談
8 / 1	定例理事会 卓話 石川会員「ソビエト視察」
8	卓話 棟方 博「板東俘虜収容所」
9	第19回クラブゴルフコンペ 程ヶ谷C.C
15	フォーラム(社会奉仕)
22	卓話 前映倫委員 杉山静夫「映倫について」
29	前番組総監 秦野 章「現代を考える」
9 / 5	定例理事会 職業報告 代々木・中林会員
12	卓話 川崎玉喜「盆栽よもやまばなし」
13	4RCゴルフコンペ 程ヶ谷C.C (幹事役 瀬谷)
10 / 6	定例理事会 ガバナー公式訪問 クラブアッセンブリー(桐蔭学園にて家族懇親会)
9	ガバナーを囲んで炉辺会合

10/10	休 会（体育の日）
17	公式訪問反省会（会長並に四大奉仕部門） 青少年活動週間
24	卓話 港北土木事務所長 村山保夫「緑区道路事情」
31	卓話 中根式速記学校長 中根正雄「インスタント速記」 特別理事会（国際奉仕）
11/7	定例理事会 卓話 「三蔵法師と孫悟空」逸見梅栄氏 9,1,0,11 地区大会
14	卓話 「新しい国際協力時代」関東学院大学 吉村俊男氏 クラブアッセンブリー ボーリング大会 青葉台ボール 植樹祭 11～17 ロータリー財団週間
21	卓話 「企業と公害」 三菱油化K.K 珠渕俊滋氏 （職業の日）
28	卓話 「日露戦争回想録」 鈴木信太郎（93才）
12/5	定例理事会 卓話 「工業用油について」 諸星インク（K）村松孝一郎氏
12	卓話 「漫画アラカルト」 やなせたかし氏
13	4 R O ゴルフコンペ （幹事役 緑） 第20回クラブゴルフコンペ併催 相模原 G. O 炉辺会合
19	I.G.F 準備委員会 新横浜ホテル 例会後家族懇親会（夜）クリスマスパーティ 新横浜ホテル
26	前半期を顧みて（会長・幹事四大奉仕部門）

1974年

1/2	休 会
9	定例理事会 新春放談 クラブアッセンブリー
16	職業報告 阿久根幹成 インターアクト週間
23	クラブアッセンブリ I.O.G.F について
26	I G F（土）
30	卓話 「音楽漫步」桑島すみれ氏 雑誌週間
他	特別理事会（職業奉仕）
2/6	定例理事会 卓話 「今後の日本経済について」藤山愛一郎氏
13	職業報告 菅野明男氏 会員会社見学 日本農産中央研究所（職業奉仕）
20	卓話 ガバナーノミニニー 山田宗圀氏
23	ロータリー創立記念日
27	フォーラム（社会奉仕） 司会 山下委員長 少年少女週間
3/6	職業報告 浜田勝也
13	卓話 「創立四周年によせて」 山崎卯一氏・横浜港北R O
11	緑R O 創立記念日
20	フォーラム（クラブ奉仕） 司会 加藤会長 議長 鶴川副会長
27	卓話 「世界社会奉仕週間に因んで」 バストガバナー 入江直祐氏 世界社会奉仕の日
4/2	炉辺会合 米本にて 特別理事会（社会奉仕）

4 / 3	定例理事会 卓話 「犯罪について」 米山緑警察署長
1 0	卓話 「日本経済を中心にして」 佐藤一郎氏
1 1	4 R C ゴルフコンペ 2 1 回クラブゴルフコンペ併催 戸塚 C.C
1 7	職業報告 (社会奉仕)
2 1	一日里親会 (中里学園々児) 八王子サマーランドにて
2 4	卓話 「緑区の行政について」 県会議員 石原 守氏
5 / 1	定例理事会 (新旧合同) フォーラム (国際奉仕)
8	卓話 「ローターアクトについて」 地区ローターアクト委員 末永直光氏 (神奈川 R.C)
1 5	卓話 「直善美」 秋田会員
2 2	卓話 「お釜の話」 釜師 中田呂尚氏
2 9	卓話 「特許について」 東京弁理士会長 福田 勲氏 第 2 2 回クラブゴルフコンペ 相模原 G.C
6 / 5	定例理事会 (新旧合同) 職業報告 大出浩市
1 2	卓話 「田園都市開発について」 東急電鉄役員 柳田盈文氏
1 9	クラブ協議会 一年を顧みて
2 0	4 R C ゴルフコンペ 横浜国際 C.C (幹事役 旭)
2 6	新旧交替懇親旅行会 仙石原 仙郷楼にて 第 2 3 回クラブゴルフコンペ 大箱根 C.C

ロータリー情報委員会報告

委員長 三 沢 君 夫
委員 中 山 恒三郎
" 岩 沢 幸 男

(1) 例会特別委員会提案中の「ロータリー情報」に関するものとして、

① 食事中に於ける情報提供、 ② ロータリークイズ に関しては、会長方針の例会中に於ける会員の 3 分間スピーチと重複するので中止した。

(2) 炉辺会合の型式を地域別、職業別並に五人制別と種々工夫をこらし実施し、亦ライオンズクラブとの合同例会開催の件

炉辺会合年 4 回開催については、第 1 回目を 1 0 月 5 日新横浜ホテルに於て「ガバナーをかこんで」と題し開催、会員 2 1 名の出席を得、盛大裡に終了、有意義であり且つ効果的であった。たゞ、難

点と云えば、ガバナー、分区代理出席の為か活発性がなかった事、第2回目は別に之を設けず、1月26日桐蔭学園に於けるI.G.F 大会後の懇談会に於て 炉辺会合の目的は充分に果されたものと信じます。

第3回は五人制グループ別に4月2日、地元米本にて開催、14名の出席を得た。各グループ別に問題を提起、デスカッションした。

ライオンズクラブとの情報交換又は合同例会を是非ももちたかったが、在任中、果し得なかったのは残念でした。

最後に情報委員会に対する会員皆様の御協力を感謝します。

広報委員会報告

委員長	岡	本	健
副委員長	岩	本	正 三

各委員会の活動状況を分析して次の様な広報活動を行った。

クラブ組織表及、社会奉仕委員会主催の「かくれた善行者に対する感謝」、「チャリティバザール」の開催等地元新聞を通じて奉仕活動の一端を報道した。

又本年度のターゲット「緑の町は緑区から」の趣旨にそって、地区内新設小学校に苗木の寄贈、並にI.G.Fの行事をも含めた写真を地区内金融機関を通じて展示して、地域の方々にロータリーを理解してもらう様努力した。

S. A. A. 報告

S A A	武	藤	松	一
副S A A	中	野		実

年初の計画では例会出席者を事前に確認することによって出席者総数を知り、食事数の無駄を少なくする様努力しましたが、ゲスト、ビジターの不確定要素があって結局龍頭蛇尾に終り、色々やりた

いと思っていた事もことと違ひ、うまくゆきませんでした。

(1) 設 備 拡声装置とワイヤレス・マイクを親規購入しました。

(2) 例 会

① 机の配置…… 会長始め、会員の提案により堅苦しい雰囲気はなくす様、時々机の配置変えをしました。

② 着 席 …… 会長の提案により定刻5分前に鐘を鳴らし、着席の合図をして定刻に直ちに例会が始まる様にしました。

③ 昼 食 …… 最初和・洋食半々で始めましたが、和食希望が圧倒的に多かったため、和食一本に切换え、且つ毎月の第二週例会を粗食デーとして低価格の食事とし、その差額を社会奉仕に使用する様努めました。昼食のロスは約5%でした。

④ ロータリー・ソング…… 浜田会員にソング・リーダーをやっていたときました。

(3) ゲスト(49年6月12日迄) 延 96名 1例会平均 2名

(4) ビジター(49年6月12日迄)延 88名 1例会平均 1.8名

(5) スマイル・レポート(49年6月12日迄)

ニコ・ニコ 延 318名 金額 721,984円 外=利子 4,460円

会員数 38名 1人当平均 19,000円

例会数 48回 1例会平均 15,041円

予算額を軽く突破し、会員の積極的な善意と御協力に深く感謝致します。

社会奉仕委員会報告

委員長	山下 栄 蔵	委員	野 路 久 治
副委員長	山口 吉 蔵	"	長 瀬 正 作
委 員	三 橋 栄 一	"	代々木和男
"	岩 沢 幸 男		

本年度社会奉仕活動として下記事項を実施しました。

- (1) 例会に地域社会の各部門の代表的人物を招いてロータリークラブを理解して戴くと共に、地域社会との親睦の一助とした。(28名)
- (2) 毎例会出席されたお客様に草花の種子を贈呈し、緑化運動の一端とした。
- (3) 地域社会の善行者5名を例会に招き感謝の意を表した。
警察官—2名 地域の野球審判員—2名 中里学園職員—1名
- (4) チャリティーバザーを開催し其の収益を地域社会に配布した。
緑の少ない小学校(四校)へ苗木計 96本寄贈
緑区役所市民課へ青少年用として 天幕 2組寄贈
緑警察人形劇団へ舞台装置の一部 寄贈
- (5) 老人ホーム(清和園)へ会員の協力を得て慰問品100人分寄贈
- (6) 恵まれない子供達、中里学園々児全員約80名一日里親として慰問する。
親睦委員会と合同で八王子サマーランドへ招待した。

以上が実施事項の概要ですが、一年を省みて、奉仕する事は大変むずかしく、中途半端な奉仕は善意が悪意に変わる懼れがある事に気が付きました。

職 業 奉 仕 委 員 会 報 告

委員 長 野 路 久 治	委員 山 下 栄 蔵
副委員長 石 川 治 道	〃 長 瀬 正 作
〃 富 永 力	

1. 7月11日 次のテーマの下にフォーラムを行う。
 - ① 各会員事業所に於て現時点における最も適切な職業奉仕は何か?
 - ② 本年度本クラブのターゲット“緑の町は緑区から”を如何様に実行に移すか。
 各会員から活発な意見が吐露され、有意義なフォーラムであった。
2. 10月17日 本年度本クラブのターゲット“緑の町は緑区から”を書き込んだネーム入りの植樹記念の表示板を作製、配布し、会員の居宅および事業所への植樹を奨励した。

3. 2月13日 麻生会員の日本農産工業中央研究所の見学会を行った。各種動物の飼料研究の実態に接し、会員一同多大の興味と感動を深くした。
4. 社会奉仕委員会に協力して、地域内の官公庁、各種団体のリーダーを例会に招待して親睦をはかることにつとめた。

国際奉仕委員会報告

委員長 森 善助 委員 清水 勇
副委員長 高橋正文 " 小林安雄

1. 国際理解活動について

- (1) 姉妹クラブのスイス、フラウイルRCとは個人的な文通を通じて会員の親交を深めている。
- (2) 国際理解週間には区内居住のパンダビルド氏を招き、「新しい時代の味い」という卓話を巧みな日本語できく。
- (3) フィリッピン・ルセナRCとバナーの交換を行った。

2. 世界社会奉仕について

- (1) WCS625、WCS886、WCS1098に協力。
- (2) 世界奉仕週間にちなみ入江バスターガバナーの卓話でその意義を深めた。
- (3) キリスト教子供集会(C.C.F)への参加。

3. 米山奨学金について

米山奨学生 崔仁鶴君のフィンランド、ヘルシンキにて開催の世界民族学会出席のために資金24万円を会員の多大な協力を得て援助した。

ロータリー財団委員会報告

委員長 石 川 治 道
副委員長 戸 田 修

昭和49年4月15日付ガバナー月信11号によれば、第359地区における過去一年間の財団への寄附額は其の目標を大きく突破して、276千ドルに上り、其の累積額が1,042千ドルに達し、R.I財団本部から賞賛された事を報じて居ります。我が緑クラブも小数メンバーにて構成され、且つ創立4年の日浅きにも拘わらず、初代委員長戸田会員の熱心な指導のもとに全会員が挙って財団に深い理解を持って協力した結果、昭和49年3月31日現在当クラブの達成率 4400% 其の額 17,500ドルに及び会員38名中ポール、ハリス、フェロー7名、準フェロー23名を算している。クラブ活動としてこれ迄は財団へ金を出す一方道であったが、本年度に於て当クラブ推薦の大貫博之君（青山大、英文学専攻）が大学院生として財団の資金援助のもとに海外留学が決定され、Give & Take の両道が拓かれ、大変喜んで居ります。又R.I財団とは直接には関係はないが、当クラブの推薦によって韓国の留学生 崔仁鶴君（教育大、博士科程研修中）が永く米山奨学金を受けて居り、更にこの6月にヘルシンキで開かれる世界民族学大会への参加費用の一端として同奨学金から補助金を受けました。財団への寄附はこのように世界の平和を希求する全ロータリアンの願望を達成する重要な仕事に深いつながりをもって居ります。当クラブとして財団活動の残された問題は、準フェロー会員には出来るかぎり近い期間にフェローへの仲間入りを、又未加入の会員には（僅かではあるが）昭和49年11月の財団週間までに是非とも準フェローに加入してもらいたいと念願して居り、深い御理解を得たいと思います。

昭和48年度収支決算書

昭和48年7月1日～昭和49年6月30日

(単位:円)

収 入 の 部					
科 目	小 科 目	予 算 額	決 算 額	予 算 比	備 考
会 費	年 会 費	4,000,000	3,800,000	△ 200,000	
入 会 費		200,000	120,000	△ 80,000	
スマイル ボックス		500,000	650,444	150,444	
ビジター 収入		144,000	79,800	△ 64,200	
本 部 納 入	1 0 \$ 寄 附	13,250	5,300	△ 7,950	
そ の 他 収 入		20,000	48,028	28,028	
前 年 度 繰 越		554,857	554,857		
合 計		5,432,107	5,258,429	△ 173,678	

支 出 の 部					
科 目	小 科 目	予 算 額	決 算 額	予 算 比	備 考
本 部 納 入	R I 人 頭 分 担 金	84,800	83,880	△ 920	
	財 団 寄 附	76,850	68,225	△ 8,625	
	地 区 資 金 事 業 費	160,000	188,000	28,000	
	米 山 フ ェ ン ド	60,000	56,250	△ 3,750	
	そ の 他	112,500	92,500	△ 20,000	
小 計		494,150	488,855	△ 5,295	
委 員 会 費	ク ラ ブ 奉 仕	320,000	368,680	48,680	
	職 業 奉 仕	20,000	9,500	△ 10,500	
	社 会 奉 仕	500,000	205,823	△ 290,177	
	国 際 奉 仕	50,000	24,250	△ 25,750	
小 計		890,000	608,253	△ 281,747	
例 会 費		1,520,000	1,465,354	△ 54,646	
会 議 費		30,000	53,000	23,000	
登 録 費		40,000	50,000	10,000	
書 籍 費	ザ・ロータリン、ロータリー の友の購読費その他	106,775	101,127	5,648	
小 計		1,696,775	1,669,481	△ 27,294	
事 務 局 費	事 務 費	30,000	12,993	△ 17,007	
	通 信 費	60,000	30,470	△ 29,530	
	事 務 委 託 費	506,000	530,000	24,000	
小 計		596,000	573,463	△ 22,537	
印 刷 費	週 報 、 そ の 他	700,000	1,053,200	◎ 353,200	
贈 答 費		320,000	183,190	△ 136,810	
慶 弔 費		100,000	15,000	△ 85,000	
備 品 費		50,000	116,400	66,400	
雑 費		50,000	60,930	10,930	
I G F 費		300,000	205,315	△ 94,685	
次 期 繰 越 金		235,182	284,342	284,342	
合 計		5,432,107	5,258,429	△ 173,678	

会 員

氏 名		勤 務 先				
		名 称	役職名	所 在 地	☎	電 話 番 号
A	秋 田 茂					
	阿久根 幹 成	阿 久 根 医 院	院 長	藤ヶ丘2-6-6	227	971-6480
	麻 生 和 衛	日本農産工業(株) 中 央 研 究 所	常 務 取 締 役 所 長	台村町 1	226	931-1861
H	浜 田 勝 弥	ひかり運輸(株)	代 表 取 締 役	鴨居町1304	226	933-2551 ~3
I	石 川 治 道	日 研 発 条 (株)	取 締 役 会 長	中山町1192	226	931-2661
	岩 本 正 三	岩本歯科医院	院 長	寺山町97	226	931-1172 2430
	岩 崎 董 正	(株) 岩崎呉服店	代 表 取 締 役	長津田町1860	227	981-0012
	岩 沢 幸 男	みほ幼稚園	園 長	三保町2384	226	931-4938 3439
K	加 藤 雅 光	ヨコハマクリニック	院 長	青砥町125	226	931-2568
	加 藤 芳 昭	東 海 綿 業 (株) 横 浜 支 店	支店長	上山町398	226	933-2241
	小 林 安 雄	小富士産業(株)	取 締 役 社 長	青砥町217	226	932-1331 本社03-431-1268
M	三 沢 君 夫	三 沢 (合)	代表者	つじが丘 町田 市南大田谷1426	227	981-1124 0427-22-6411・2247
	三 橋 英 一	三 橋 建 設 (株)	取 締 役 社 長	元石川町1021	227	911-3141
	森 善 助					
	武 藤 松 一	(株) 武 藤 電 機	取 締 役 社 長	西八朔町751	227	932-2211 ~6
N	長 瀬 正 作	(株) ミドリデンコー	取 締 役	佐江戸町368	226	933-2594
	中 林 靖	日 本 舗 材 (株)	取 締 役 社 長	青砥町415	226	931-3535
	中 野 実	(有) 中 野 商 事	代 表 取 締 役	長津田町1418	227	981-0462
	中 山 恒三郎	(株) 中 山 恒三郎商店	取 締 役 社 長	川和ビ741-1	226	933-2141
	名 倉 健 二	(株) 東京リンク製作所	取 締 役 社 長	中山町1235	226	931-2461

名 簿

自 宅			生 年 月 日	結 婚 記 念 日	職 業 分 類
番 地	区 画 図 番 号	電 話 番 号			
中区山手町 32-1	231	641-0378	明 3 6. 3. 3	5. 4	シ ニ ア
同 左			大 1 5. 4. 2 6	3. 8	小 児 科 医
港北区下田町 818 日吉ハイツ 411号	223	044- 62-0998	大 7. 1 0. 9	1 0. 5	飼 料 製 造
鴨居町 1214	226	931-2694	昭 8. 1. 2 1	5. 1	貨 物 自 動 車 輸 送
(東)練馬区富士見台 2-31-15	177	03- 999-4861	明 4 1. 1 2. 2 0	3. 6	シ ニ ア
同 左			大 8. 1 2. 2	1 1. 1 4	歯 科 医
同 左			明 2 8. 1 0. 2 4		シ ニ ア
同 左			大 1 4. 4. 1 1	1 0. 1 3	幼 稚 園
同 左		931-2562	大 1 5. 8. 7	1 1. 2 3	消 化 器 科 医
同 左			昭 9. 8. 2 8	1 0. 1 0	綿 製 品 販 売
鎌倉市浄明寺 110	248	0467 22-5017	大 1 3. 8. 3 0	3. 2 1	板 金 工 作
奈良町 750	227	981-0239	大 1 5. 9. 1 1	3. 9	ポ ー リ ン グ 場
同 左	227	911-3140	昭 6. 2. 8	1 0. 2 4	土 木 工 事
桜台 33-3	227	981-4831	大 7. 1 0. 2 5	2. 2 0	農 業
川崎市高津区下作延 1923-7	213	044- 833-1756	大 5. 3. 3 0	1 1. 2	空 気 調 整 装 置 製 造
綱島西 2-8-11	223	531-1184	大 2. 4. 2		電 気 工 事
(東)杉並区阿佐谷南 1-13-8	166	03- 312-4868	昭 4. 5. 7	1 1. 1 4	ア ス フ ェ ル ト 合 材 製 造
同 左			昭 5. 4. 1	5. 1 4	肖 像 写 真
川和町 890	226	931-1116	大 1 2. 5. 1 3	3. 2 5	酒 類 販 売
港北区大曾根町 961	222	531-3816	大 9. 5. 2 0	3. 1 6	履 帯 製 造

氏 名		勤 務 先				
		名 称	役職名	所 在 地	郵便番号	電話番号
N	西 野 淳 造	(株)東海銀行中山支店	支店長	寺山町河内89-2	226	932-3341
	野 路 久 治	青葉台ビル管理 (株)	取締役	榎ヶ丘5-1	227	981-6912
O	岡 本 健	(株)ミロク精機製作所	取締役社長	上山町7	226	931-4541
	大 出 浩 市	八千代信用金庫 長津田支店	支店長	長津田町1855	227	981-1411
S	篠 田 貞 光	横浜銀行中山支店	支店長	中山町230	226	933-2341
	清 水 勇	(株)雪印 こどもの国牧場	専務取締役	奈良町700	226	981-0442
	鈴 木 憲 一	(株)田園都市交通	取締役社長	長津田町杉山原2000	227	981-0115
T	高 橋 正 文	高 橋 医 院	院 長	東本郷町477	226	471-8280
	戸 田 裕 也	長津田厚生総合病院	副院長	長津田町2125	227	981-1202
	戸 田 修	"	院 長	"	"	"
	富 永 力	富永高周波 (株)	取締役社長	三保町1745	226	931-3302
	土志田 昭 吉	土志田建設 (株)	取締役社長	長津田町2000-23	227	981-1136
U	鵜 川 昇	桐 蔭 学 園	校 長	クロガネ町1614	227	971-1411
Y	山 口 吉 蔵	横 浜 化 成 (株)	取締役社長	川和町212	226	931-1741 ~2
	山 本 照 磨	三井銀行青葉台支店	支店長	青葉台1-10	227	981-3131
	山 下 栄 蔵	山 下 工 業 (株)	取締役社長	上山町91	226	933-0321
	好 井 良 雄	(株)好井鉄工所	代表取締役	川和町846	226	931-3181
	代々木 和 男	(有)代々木商店	取締役社長	市ヶ尾町325-1	227	971-3194

自 宅			生 年 月 日	結 婚 記念日	職 業 分 類
番 地	電 話 番 号	電 話 番 号			
三鷹市上連雀6-27-7	181	0422- 44-7764	昭 7. 9. 3 0	1 0. 2 8	興 業 銀 行
田奈町 22-8	227	981-2831	大 4. 1 1. 1 4	1 1. 3	ビ ル 賃 貸 し
神奈川区片倉町 757-68	221	481-3080	大 1 3. 3. 4	4 2 0	銃 器 製 造
多摩市桜ヶ丘 2-38-9	192 -02	0427- 75-6624	昭 6. 2. 2 0	1 1. 2 8	信 用 金 庫
小田原市堀ノ内 79	250	0465- 36-0215	大 1 5. 2. 1	2. 2	貯 蓄 銀 行
(東)世田谷区桜上水 1-20-6	156	03- 303-7292	大 3. 1. 2 3	3. 7	乳 製 品 製 造
恩田町 981	227	981-0051	明 3 1. 8. 2	1 1. 3	シ ニ ア
同 左			大 7. 3. 1 0	4 2 5	内 科 医
(東)品川区大井 3-20-12	140	03- 771-4759	昭 1 2. 4. 7	2. 6	病 院
青葉台 2-24-1	227	983-7267	明 4 0. 2. 2 3	1 1. 2 7	シ ニ ア
しらとり台 36-2	226	983-7272	明 4 3. 1 2. 2 0	3. 1 0	ビニール 高周波 加工
同 左		981-1138	昭 2. 1 2. 3 1	4. 1 5	建 築 請 負 業
神奈川区白幡西町 58	221	421-2948	大 9. 8. 1 0	6. 2 1	高 等 学 校
町田市南つくし野 4-6-6	194	0427- 95-5795	明 4 2. 1 2. 1 8	9. 9	電 気 絶 縁 物 製 造
横須賀市野比 1618-248	239	0468- 48-7005	昭 5. 3. 2	3. 5	商 業 銀 行
神奈川区白幡向町 99	221	421-3263	大 1 5. 1 0. 3 0	1 0. 2 1	建 設 機 械 製 造 販 売
佐江戸町 1956	226	931-1445	大 5. 4. 1	1 1. 2 9	鉄 工 建 築 業
同 左			昭 7. 6. 1 1	5. 1 0	建 築 材 料 販 売

横浜緑ロータリークラブ組織表
1973-74 (昭和48-49年度)

I 理事	加藤 雅光	鵜川 昇	小林 安雄	山下 栄蔵
	三沢 君夫	森 善助	野路 久治	
II 役員	会長 加藤 雅光	S. A. A.	武藤 松一	
	副会長 鵜川 昇	副S.A.A.	中野 実	
	幹事 名倉 健二	会計 篠田 貞光		
	副幹事 岡本 健			

III 委員会

(◎委員長 ○副委員長)

A クラブ奉仕	◎鵜川 昇	(担当理事)	
1. 出 席	◎岩本 正三	○篠田 貞光	長瀬 正作
2. 職業分類	◎高橋 正文	戸田 裕也(2)	清水 勇(3)
3. 親睦活動	◎山本 照博	○西野 淳造	加藤 芳昭
	(小峰 政博)	好井 良雄	代々木 和男
	中林 靖男	阿久根 幹成	浜田 勝弥
	(菅野 明男)	大出 浩市	
4. クラブ会報	◎戸田 裕也	○加藤 芳昭	(小峰 政博)
	中野 実	中林 靖	
5. 雑 誌	◎麻生 和衛	○中山 恒三郎	
6. 会員選考	◎石川 治道	○秋田 茂	小林 安雄
7. 会員増強	◎鵜川 昇	○鈴木 憲一	岩崎 董正
	高橋 正文	石川 治道	
8. プログラム	◎富永 力	○石川 治道	秋田 茂
	清水 勇		
9. ロータリー情報	◎三沢 君夫	○岩沢 幸男(2)	中山 恒三郎(3)
10. 広 報	◎岡本 栄蔵	○岩本 正三	
B 社会奉仕	◎山口 吉蔵	(担当理事)	
	○野路 久治	三橋 英一	岩沢 幸男
	富永 力	長瀬 正作	代々木 和男
インター・ローターアクト		力	
C 職業奉仕	◎野路 久治	(担当理事)	
	○石川 治道	富永 力	山下 栄蔵
	長瀬 正作		
D 国際奉仕	◎森 善助	(担当理事)	
	○高橋 正文	清水 勇	小林 安雄
ロータリー財団	戸田 修		
ロータリー米山財団	土志田 昭吉		

◎ 例会を強化する特別委員会

◎名倉 健二	○石川 治道	秋田 茂	鈴木 憲一
岩崎 董正	中山 恒三郎	武藤 松一	中野 実
	親睦活動委員	プログラム委員	

◎ I.G.F 準備特別委員会

◎秋田 茂	○鵜川 昇
-------	-------

◎ ローター インター アクト準備委員会

◎名倉 健二	○富永 力	山下 栄蔵	山口 吉蔵
三沢 君夫	好井 良雄		

◎ 5周年記念誌発行準備委員会

◎戸田 裕也	○中野 実	武藤 松一	註: ()内は中途退会者
--------	-------	-------	---------------

五人制グループ (1973～74)

I組	秋田	(小峰)	岡本	高橋	代々木	(菅野)	大出
II組	麻生	岩沢	長瀬	鈴木	山下		
III組	阿久根	小林	森	中山	好井		
IV組	石川	野路	篠田	土志田	浜田		
V組	岩本	三沢	三橋	中野	山本		
VI組	岩崎	中林	西野	戸田裕	鵜川		
VII組	加藤芳	清水	戸田修	富永	山口		

(註) : () 内は中途退会者

歴代会長幹事

	合 長	幹 事
創 立 時	石 川 治 道	柴 田 清
昭和45～46 (1970～71)	石 川 治 道	柴 田 清
昭和46～47 (1971～72)	秋 田 茂	三 沢 君 夫
昭和47～48 (1972～73)	小 林 安 雄	高 橋 正 文
昭和48～49 (1973～74)	加 藤 雅 光	名 倉 健 二
昭和49～50 (1974～75)	鵜 川 昇	山 下 栄 蔵

備 品 目 録

品 名	数量	入手年月日	取得価格
ロータリーの鐘とハンマー	1	4 5. 2. 2 5	1 7,0 0 0
国 旗	1	# 3. 1 6	1 5,0 0 0
クラブ旗	1	# # #	1 1,0 0 0
認 証 状	1		
スマイルボックス	1		
グッドウィルボックス	1		3,3 0 0
レクチャー アンプ	1	4 5. 3. 1 8	1 0 0,0 0 0
テープレコーダー	1	#	4 5,0 0 0
レコードプレーヤー	1	#	1 5,0 0 0
レコード(ロータリーソング)		#	
ワイヤレスマイク	4	#	3 0,0 0 0
会員個人別ボックス	1		
書 庫	2	#	1 1,0 0 0
バナー掛(各クラブのバナー共)	2	4 6. 8. 3 0	2 2,0 0 0
バナー立て	1 3		
タスキ	1 1		
パネル	1 9		
黒 板	1		
アクリル名札板	1	4 5. 4. 6	2,0 0 0
卓上名札	2 3		
テーブルクロス	2 0		
コーヒーセット	4 0		
マホービン	1 0		
ロータリー財団寄附率証明書	1		

充 填 ・ 未 充 填 ・ 職 業 分 類 表

(昭 和 4 9 年 7 月 1 日 現 在)

正 会 員

職 業 分 類		会 員 名	勤 務 先	役 職 名
関 連	分 類			
農 業	農 業	森 善 助		自 営
冷 暖 房	空 気 調 整 装 置 製 造	武 藤 松 一	(株) 武 藤 電 機	取 締 役 社 長
	冷 暖 房 機 器 販 売			
	ば ね 製 造			
自 動 車 工 業	自 動 車 販 売			
	自 動 車 修 理			
団 体	専 門 家 団 体			
酒 精 飲 料	酒 類 販 売	中 山 恒 三 郎	(株) 中 山 恒 三 郎 商 店	取 締 役 社 長
	建 築 材 料 販 売	代々木 和 男	(有) 代々木 商 店	取 締 役 社 長
	アスファルト製品販売	中 林 靖	日 本 舗 材 (株)	代 表 取 締 役
葬 儀	葬 儀 業			
ビジネスサービス	計 理 士			
化 学 工 業	医 薬 品 販 売			
	建 築 業			
建 設 業	請 負 業	土 志 田 昭 吉	(株) 土 志 田 建 設	取 締 役 社 長
	土 木 工 事	三 橋 英 一	三 橋 建 設 (株)	取 締 役 社 長
	建 築 設 計			
綿 業	綿 製 品 販 売	加 藤 芳 昭	東 海 綿 業 (株) 横 浜 支 店	支 店 長
衣 料 及 雑 貨	衣 料 品 販 売			
	雑 貨 販 売			
教 育	高 等 学 校	鷗 川 昇	桐 蔭 学 園	校 長
	幼 稚 園	岩 沢 幸 男	み は 幼 稚 園	園 長
	私 立 学 校			
電 気 及 電 子 工 業	電 気 器 具 製 造			
	電 気 器 具 販 売			
	電 気 工 事	長 瀬 正 作	(株) ミ ド リ 電 工	取 締 役
	電 気 附 属 品 製 造			

職 業 分 類		会 員 名	勤 務 先	役 職 名
関 連	分 類			
金 融	貯 蓄 銀 行	篠 田 貞 光	横浜銀行中山支店	支 店 長
	商 業 銀 行	山 本 照 磨	三井銀行青葉台支店	支 店 長
	興 業 銀 行	西 野 淳 造	東海銀行中山支店	支 店 長
	信 用 組 合	大 出 浩 市	八千代信用金庫長津田支店	支 店 長
銃 器 及 火 薬	銃 器 製 造	岡 本 健	(株)ミロク精機製作所	取締役社長
食 品 工 業	飼 料 製 造	麻 生 和 衛	日本農産工業(株)中央研究所	常務取締役 所 長
	穀 類 販 売			
家 具 及 備 品	家庭用家具販売			
金 物	金属性工具販売			
園 芸	花 卉 栽 培			
	花 卉 販 売			
時 計 製 造	時計ばね製造			
ホテルリゾート 及レストラン	料 理 店			
	ド ラ イ ブ イ ン			
施 設 及 病 院	病 院	戸 田 裕 也	長津田厚生総合病院	副 院 長
絶 縁 材 料	電気絶縁物製造	山 口 吉 蔵	横浜化成(株)	取締役社長
鉄 鋼 業	鉄 鋼 販 売			
	鉄 鋼 建 築 業	好 井 良 雄	(株)好井鉄工所	取締役社長
法 律	一 般 弁 護 士			
機 械 及 装 置	建設機械製造	山 下 栄 蔵	山 下 工 業 (株)	取締役社長
	履 帯 製 造	名 倉 健 二	(株)東京リンク製作所	取締役社長
	開 鑿 機 製 造			
	機 械 販 売			
動 物 性 食 品	乳 製 品 製 造	清 水 勇	(株)雪印こどもの国牧場	専務取締役
医 術	内 科 医	高 橋 正 文	高 橋 医 院	院 長
	歯 科 医	岩 本 正 三	岩 本 歯 科 医 院	院 長
	消化器科医	加 藤 雅 光	ヨコハマクリニック	院 長
	小 児 科 医	阿久根 幹 成	阿 久 根 医 院	院 長
金 属 工 業	板 金 工 作	小 林 安 雄	小富士産業(株)	取締役社長
	電 気 鍍 金 業			
鉱 油 工 業	精 油 販 売			
事 務 所 用 品	イ ン キ 製 造			
	事 務 用 品 販 売			

職 業 分 類		会 員 名	勤 務 先	役 職 名
関 連	分 類			
写 真	肖 像 写 真	中 野 実	㈱ 中 野 商 事	代表取締役
プラスチック 工業	プラスチック材料製造			
	ビニール 高周波加工	富 永 力	富永高周波工業㈱	取締役社長
配 管	配 管			
印 刷 及 出 版	印 刷			
不 動 産 業	ビ ル 賃 貸	野 路 久 治	青葉台ビル管理㈱	取 締 役
	貸 地			
レクリエー ション	ボ ー リ ン グ 場	三 沢 君 夫	三 沢 合 資 会 社	代 表 者
	ス ポ ー ツ 用 品 販 売			
	遊 園 地			
宗 教	神 道			
	仏 教			
倉 庫	倉 庫			
	タ ク シ ー 業			
	貨物自動車運送	浜 田 勝 弥	ひ かり 運 輸 ㈱	取締役社長
木 材 工 業	木 材 販 売			

シニア アクチブ会員

	(衣 料 販 売)	岩 崎 董 正		
	(病 院)	戸 田 修		
	(タ ク シ ー 業)	鈴 木 憲 一		
	(イ ン キ 製 造)	秋 田 茂		
	(ぼ ね 製 造)	石 川 治 道		

